

石川

六右衛門源重勝しげかつ又四郎重正しげただ二男  
あり

東照宮に仕へ奉つて清納戸に番士と  
あり米地四百石と賜ひたり寛永三  
年五月

台徳院殿洛小のちりせ給ふ時従ひ  
奉つて其後清膳奉りしうつり同十

年十二月二十石の地と加へ給ひさ同十一  
年正月陸船より小轉し同十二年十二  
月布衣と著るることとありさるこれ  
より先米地と加へしれ相換國小とい  
てさるる二十石と知りし同十四年  
六月八日とて四十九ふして死し法名  
と冷心とあり其子八人瑞守政信ハ大  
瑞守政次り養子とあり二男六人

瑞守重興家と継ぐとあり又十郎と  
あり寛永九年とありめさる

大猷院殿と拜し同十四年十月遺跡  
とつさ同十九年六月法書院の番士  
と列し慶安元年五月より進物乃  
事と後人  
家譜○今の小普清石川  
六三郎政徳の祖なり  
此十郎重俊ハ又四郎重正より三男より  
寛永三年とありめさる